

五中だより
第9号

上田市立第五中学校 〒386-0003 上田市上野441 TEL 22-3076

鳳

令和4年11月29日

文責 宮澤 良雄(教頭)

五中ブロック人権同和教育研修会 1年3組, 3年2組で 公開授業を行いました。



人権同和教育月間中の11月10日、神科小、豊殿小の先生方が五中に参集し、人権同和教育の授業を通して、人権同和教育について考えました。感染警戒レベルが高かったため、参集人数を制限しての開催でしたが、授業後の研修会では、講師の先生をはじめ多くの先生から今後への貴重な示唆をいただきました。



美術部黒板アート(11月)より

吹奏楽部 市民の森芸術祭 & 砥石・米山城まつりで演奏

甲冑を身につけ真田昌幸に扮する畠山校長先生と吹奏楽部の皆さん



令和4年度 全国学力・学習状況調査 (3年生) の結果について

今年度の全国学力・学習状況調査の本校の結果と今後の指導についてお知らせします。

(1) 全体的な傾向

内容	結果
国語	ほとんど全ての項目で全国及び長野県の平均正答率を上回っています。領域別では「話すこと・聞くこと」の分野の正答率がやや低く、問題別では「呼びかけたり、問いかけたりする表現の工夫」「論理の展開」「表現の技法についての理解」の正答率が低かったです。漢字や語句など言葉の知識や文章の読み取りに関しては力がついている一方で、目的や場面に応じた表現の工夫や表現技法といった、知識を活用した「思考・判断・表現」の力が課題です。
数学	全ての項目で、全国及び長野県の平均正答率を上回っています。領域別に見ると「図形」「関数」の分野の正答率が低く、その中でも合同な図形の性質から角度を求める問題の正答率が低く、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する力に課題が見られます。観点別では知識・技能」に比べ「思考・判断・表現」が低く、問題形式では「記述式」に課題があります。
理科	全ての項目で、全国及び長野県の平均正答率と概ね同等です。領域別では「粒子」を柱とする領域の正答率がやや低く、「生命」を柱とする領域の正答率が高かったです。問題別では「液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する」「生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する」の正答率が低く、多くの情報を横断的に活用する力が弱いと思われます。

(2) 調査結果をふまえ、これからの指導に生かすために

本校の生徒は、与えられた課題にまじめに取り組むことができます。しかし、身に付けた知識や技能を実生活と結び付け、場面や目的に応じて活用したり、自ら課題を見出し、考えを深めながら課題を追究したりする姿勢がやや弱いと感じています。

今回の調査結果を受け、国語科では、各単元において、グループ討議による対話的な学習の場を多く設定し、自分の考えを相手に分かりやすく伝える、また、相手の考えを的確に聞きとる力をつけていきます。さらに、論説文に対する読解力をつけるために文章構成をとらえた上で構造的に内容を読み取る学習活動を積み重ねて、読み取る力の向上を図っていきます。また、文章の要約に合わせて、作文指導を行い、書く力の向上を図っていきます。

数学科では、今までは「どのように解くか」を教師や生徒の“見通し”から全体追究やグループ活動を通して身につけることを中心に授業を構成してきました。ここ数年の『全国学力・学習状況調査』や『高校入試問題』の傾向を分析すると、「どのようにして解いたかを説明できる」「どうして間違えてしまったかを説明できる」力が求められています。「説明する力」や「根拠をもとに伝える力」をつけるために、意図的にそのような問題を取り入れ、まずは、自分の考えを持ち、それをもとにしたグループ活動による対話的な学習を行っています。また、テスト問題に「説明する問題」を入れたり、授業の終末には、一人ひとりが“振り返りカード”に「この時間でわかったこと」を記述したりする時間をできる限り設定しています。

理科では、「多くの情報を横断的に活用する力」を伸ばすために学習内容と身近な事象を科学的に関連させることを意図的に取り入れ、教科書の内容のみの流れから、生活全般へと見方や考え方を広げる工夫をしています。また、実験を行う際には、実験や観察の時間の様々な気づきを広げて、授業に生かしていきたいと考えています。実験の目的のみに注目するのではなく、理由や実際の事象にも科学的な価値があることも大切に考えていきます。

また、どの教科においてもe Libraryなどを利用しながら、自己の課題を見つけ、基礎的な知識や技能の定着を図るドリル活動も行っています。そういった取り組みも継続しながら、生徒が個々に自分の考えを持つ、ペアやグループ、全体で意見交換をする、互いに考えを共有することで課題を追究してけるような場面を設定していきます。そういった「生徒が考えながら学ぶ、生徒が動きながら学ぶ」ための支援を行い、本校の課題である「思考力・判断力・表現力」を更に伸ばしていきます。